

平成27年度

南幌町教育委員会の活動状況に関する  
点検・評価報告書

平成28年8月

南幌町教育委員会

<目 次>

1	点検・評価の基本的な考え方	1
	(1) 趣 旨	
	(2) 点検・評価の対象	
	(3) 点検・評価の方法	
2	教育委員会の活動状況	2
	(1) 教育委員会の開催状況	2
	(2) 総合教育会議の出席状況	6
	(3) その他の活動状況	6
3	教育行政執行方針に基づいた主な施策・事業の 取組状況、成果・課題等	8
	(1) 学校教育	8
	(2) 社会教育	15
4	まとめ	19

## 1. 点検・評価の基本的な考え方

### (1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

この報告書は、同法の規定に基づき、南幌町教育委員会が行った点検・評価をまとめたものです。

### (2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「平成27年度教育行政執行方針」に示された施策の柱12項目に基づき実施した事務事業としました。

- ① 確かな学力の向上について
- ② 豊かな心と健やかな体の育成について
- ③ 開かれた学校づくりと教育活動の充実について
- ④ 教育環境・教育施設の充実について
- ⑤ 南幌高校に対する支援
- ⑥ 姉妹町児童交流の推進
- ⑦ 家庭や地域の教育力の向上について
- ⑧ 青少年教育の推進について
- ⑨ 成人教育の推進について
- ⑩ 芸術・文化活動の推進について
- ⑪ スポーツ活動の振興について
- ⑫ 社会教育関係施設の整備について

### (3) 点検・評価の方法

法を受けて、南幌町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行いました。

## 2. 教育委員会の活動状況

### (1) 教育委員会の開催状況

南幌町教育委員会の会議は、毎月1回（定例）を基本に開催するほか、必要に応じ臨時会議を開催しています。この会議において、5名の教育委員が教育行政の基本方針の決定など様々な案件について審議しています。

種別	開催日	付議案件等
定例	平成27年4月16日	(報告) ・平成27年度南幌町小中学校教育の推進について (その他) ・平成26年度高等学校通学費補助の実績について ・多良木町との児童交流学習事業の日程について ・中学生国際留学プログラム事業の日程について ・小中学校耐震等改修工事の日程について ・三重レークハウス外装改修工事の日程について ・町民プール建設工事及び入札の日程について
定例	平成27年5月18日	(報告) ・平成27年度小中学校児童生徒在籍状況について (議案) ・空知教育センター組合規約の変更に係る意見について ・南幌町学校給食運営委員会委員の委嘱について (その他) ・生涯学習センター利用状況について ・中学生国際留学プログラム事業参加者決定について ・町民プール建設工事入札結果及び工事監理委託業務見積合わせ結果について
定例	平成27年6月18日	(報告) ・第2回議会定例会一般質問について (議案) ・第3期南幌町社会教育中期推進計画の諮問について (その他) ・旧夕張太小学校跡利用について

種別	開催日	付議案件等
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校耐震等改修工事の入札結果について</li> <li>・中体連陸上空知大会の結果について</li> <li>・多良木町との児童交流学習事業の派遣概要について</li> <li>・平成 27 年度給食センターの概要について</li> <li>・図書館システムの入札結果について</li> </ul>
定例	平成 27 年 7 月 16 日	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南幌町招致外国青年任用規則の一部を改正する規則制定について</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中体連空知大会結果及び全道大会予定について</li> <li>・通学路の安全確保に関する取組方針について</li> </ul>
定例	平成 27 年 8 月 20 日	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道第 5 採択地区教科用図書採択教育委員会協議会の決定事項について</li> <li>・平成 26 年度南幌町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告について</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校児童生徒在籍状況について</li> <li>・中学生国際留学プログラム事業の経過報告について</li> <li>・多良木町との児童交流学習事業(訪問)の実施報告について</li> <li>・中体連全道大会の結果について</li> <li>・生涯学習センター利用状況について</li> <li>・議会総務常任委員会・南幌高校支援項目提案に対する回答について</li> </ul>
定例	平成 27 年 9 月 17 日	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果の公表について</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校耐震等改修工事の進捗状況について</li> <li>・町民プール建設工事の進捗状況について</li> </ul>

種別	開催日	付議案件等
定例	平成 27 年 10 月 15 日	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度南幌町教育文化功労賞並びに奨励賞の決定について</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「なんぼろ学力向上のメッセージ」について</li> <li>・南幌町農業協同組合からの給食食材寄贈について</li> </ul>
定例	平成 27 年 11 月 19 日	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南幌町スポーツセンター条例の一部を改正する条例制定について</li> <li>・南幌町スポーツセンター管理規則の一部を改正する規則制定について</li> <li>・南幌町営プール設置条例の一部を改正する条例制定について</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期における社会教育施設の利用状況について</li> <li>・平成 27 年度成人式について</li> </ul>
定例	平成 27 年 12 月 21 日	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 4 回議会定例会一般質問について</li> </ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員長の選任及び委員長職務代理者の指定について</li> <li>・平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多良木町との児童交流事業受入日程について</li> <li>・小中学校児童生徒在籍状況について</li> <li>・中体連全道新人大会について</li> <li>・全国学力・学習状況調査結果北海道版結果について</li> <li>・南幌町仲間づくり「子ども会議」について</li> <li>・学校給食の調理配送等業務委託選定プロポーザルの実施について</li> </ul>

種別	開催日	付議案件等
定例	平成 28 年 1 月 21 日	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度南空知 5 町教育支援委員会判定結果について</li> <li>・平成 28 年度小中学校就学予定児童生徒数について</li> </ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南幌町立学校施設の開放に関する条例の一部を改正する条例制定について</li> <li>・南幌町立学校職員の自家用車公用使用に関する規程の一部を改正する規程制定について</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南幌町生涯学習推進本部設置について</li> <li>・平成 28 年度からの新しい南幌高校支援制度について</li> <li>・平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の保護者への周知について</li> <li>・中体連全道新人大会の結果について</li> <li>・多良木町との児童交流学習事業(受入)について</li> </ul>
定例	平成 28 年 2 月 19 日	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度教育行政執行方針について</li> <li>・学校給食における食物アレルギー対応指針について</li> <li>・南幌町食物アレルギー対応連絡会議設置要綱の制定について</li> </ul> <p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度教育関係予算主要事業(案)について</li> </ul> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食センター調理配送等業務委託業者の選定結果について</li> <li>・多良木町との児童交流学習事業(受入)の報告について</li> <li>・南幌小学校雪山の完成について</li> </ul>

種別	開催日	付議案件等
定例	平成 28 年 3 月 23 日	(報告) ・平成 28 年度学校教職員人事異動について (議案) ・南幌町立学校管理規則の一部を改正する規則制定について ・南幌高等学校支援事業補助金交付要綱の制定について ・南幌町社会教育審議会委員の委嘱について (その他) ・南幌町立学校薬剤師の委嘱について

## (2) 総合教育会議の出席状況

総合教育会議は、首長と教育委員会が教育行政の大綱や重点的に講ずべき施策等について協議・調整を行うため、首長が設置します。この会議において、町長と教育委員 5 名が教育政策の方向性を共有して推進するため協議を行っています。

開催日	協議事項等
平成 27 年 5 月 18 日	・教育行政の現状と重点施策について ・「大綱」の策定について
平成 27 年 9 月 17 日	・南幌町教育大綱について

## (3) その他の活動状況

### ① 学校訪問の実施

各学校の教育目標や学校経営、運営方針による教育活動を理解するとともに、施設の状況視察や授業参観を実施

平成 27 年 6 月 29 日 南幌小学校・南幌中学校

平成 27 年 12 月 16 日 南幌中学校・南幌小学校

平成 28 年 2 月 3 日 南幌小学校・南幌中学校



② 南幌町教育委員会表彰

本町のスポーツ・文化その他教育の振興に功績のあった個人・団体を表彰

平成 27 年 11 月 3 日 南幌町農村環境改善センター

・教育文化奨励賞

個人	三浦しのぶ	(バウンドテニス)
	武田優理子	(現代俳句)
	宮川 冬維	(フットサル)
	宮川 日和	(フットサル)
	櫻井 博幸	(レーシングカート)
	若杉 健	(バレーボール)
	小林 遵	(バレーボール)

③ 教育委員・社会教育関係委員合同懇話会

教育委員と社会教育関係委員が一同に会し、生涯学習の観点に立った社会教育推進上の課題や方策について意見交換し、より充実した生涯教育の環境整備を推進する。

平成 27 年 11 月 19 日 南幌町生涯学習センター・研修室

参集者 教育委員・社会教育審議会委員・スポーツ推進委員

テーマ「中期推進計画の策定から今後に求められる社会教育の方向性」

④ 南幌町成人式

平成 28 年 1 月 10 日 南幌町農村環境改善センター 新成人 95 名

⑤ 各学校行事

入学式・運動会・体育祭・学校祭・学芸会・卒業式等

### 3. 教育行政執行方針に基づいた主な施策・事業の取組状況、成果・課題等

#### (1) 学校教育

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
確かな学力の向上について	全国学力・学習状況調査、標準学力検査の結果を活用した基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着	<p>小学校では、「学校改善プラン」に「読む」「書く」「計算する」力を育成する取組を学年毎に位置付け、学習の定着と習熟を図った。</p> <p>中学校では、放課後や長期休業中の時間を活用し、全生徒対象に基礎・基本の定着に向けた学習機会を設けた。</p>	<p>小学校では、課題のある領域に対して、個別指導などに努めているが、今後も特別支援教育学習支援員を活用するなど、困り感のある児童へのきめ細かな指導が不可欠である。</p> <p>中学校では、基礎・基本の定着が十分でない生徒がいることから、今後も引き続き放課後等の時間を活用した学習機会の確保が必要である。</p>
	学校と家庭が連携した望ましい生活習慣と家庭学習の定着化	<p>保護者会等の機会を利用し、望ましい家庭学習の方法等について助言を行った。特に小学校では、宿題を習慣化させることで、自主的な家庭学習の継続を促している。</p> <p>また、教育委員会として「なんぼろ学力向上のメッセージ」を全保護者に配布し、望ましい生活習慣と家庭学習の大切さを伝えた。</p>	<p>家庭学習の習慣化について、家庭訪問時などに、家庭学習の大切さを周知するとともに、学習の成果が実感できるような取組が必要である。</p>
	小・中学校が連携した基礎・基本の習得に向けた学校間の交流	<p>教育研究協議会の教科部会において、各教科の児童生徒の理解度や身に付いていない力などを交流し、授業に生かしている。</p>	<p>児童生徒の状況については、日常的な情報交換や引継ぎなどで把握はされているが、学習面において、更なる学校間交流として、異校種の教師同士の授業参観や乗入れ授業などの取組が考えられる。</p>

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	長期休業等における補足的な学習	長期休業中における補足的な学習として、小学校では、「遊びの達人特別教室」と連携した学習支援活動を、中学校では、学習相談会を行った。	中学校において、小学校からの学習でつまづきが見られることから、長期休業中に限らず、日常的な放課後学習など効果的な学習方法を見出す必要がある。
	外国語指導助手による実践的なコミュニケーション能力の育成	<p>小学校では、5・6年生は外国語活動の時間で言語によるコミュニケーションを、1～4年生は総合的な学習の時間において異文化の体験的理解を行った。</p> <p>中学校では、英語科の全ての授業において、ALTを活用し、コミュニケーション力の育成に向けたヒアリングや英語を利用したゲーム等を取り入れながら授業を行った。</p>	<p>小学校の低学年からALTを活用することにより、英語に慣れ親しむとともに、生活習慣の違いなどを知り、異文化等に対する理解も深まっている。</p> <p>中学校では、英語を苦手としている生徒に対し、今後も授業において、英語を利用したゲーム等を効果的に取り入れ、苦手意識を払拭し、コミュニケーション力を高めていく。</p>
	国際社会で活躍できる人材育成のための「中学生国際留学プログラム事業」の実施	カナダ・バンクーバーにおいて、2週間の短期留学を実施し、中学生6名が地元学校での英語レッスンやホームステイによる生活体験を行った。	<p>留学生徒による報告書を作成し、町広報及び町HPに掲載するとともに、「青少年健全育成を考える集い」において派遣生徒の体験発表をするなど、広く町民に伝えることができた。</p> <p>また、当事業の参加を目的に、小学生が英語検定を受験するなど、早い時期から英語への学習意欲の向上が伺える。</p>
	社会科副読本を活用した、町の歴史、文化、自然、産業等を知る取組（小学校）	「ふるさと南幌」を意識し、副読本だけでなく、積極的な校外学習も含め、学年に応じた指導を行った。	副読本に加え、「ぼろろ」郷土資料室の展示等も積極的に活用した。今後も、生きた教材、地域の資源を利用した教育に取り組む。

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	地域の資源を活用した体験的な学習など、ふるさとを愛する気持ちを育む学習の取組	小・中学校において、基幹産業である農業体験学習を行うとともに、中学校では、キャリア教育として町内企業への職業体験を行った。	地域の産業を知ること、地域を知り、より地域に対する愛着が深まり、地域も学校に対する理解が深まるという双方向の関係が強まった。
	電子黒板、実物投影機やタブレット端末を活用した、分かりやすい授業や学習意欲・理解力の向上を図る取組	小学校では、各教科における教材提示や視覚ソフトの活用、特別支援教育での利用など、使用場面を広げた。 中学校では、理科、英語、体育や総合的な学習の時間などの授業で活用し、学習意欲や理解力の向上を図った。	学校において、ICT 機器関係の効果的な活用がされている。児童生徒がより理解を深め、より良い指導になるよう、更に校内研修の充実を図る必要がある。
豊かな心と健やかな体の育成について	命を大切にすることを心や思いやりの心、倫理観などを醸成する道徳教育の充実	小学校では、参観日等を利用して道徳の授業公開を行った。 中学校では、道徳の時間において、命の大切さを学ぶとともに、いじめ調査の実施の際に、命の大切さや思いやりの心の指導を行った。	小学校では、家庭でも「豊かな心」を育むことの大切さを共通認識する機会となった。 中学校では、道徳の時間において、命の大切さや思いやりの心を指導しているが、いじめ調査で「いじめは許されないことと思わない」と数名の回答があることから、今後も継続した指導が必要である。
	豊かな人間性や社会性を育む体験活動	小学校では、教育田や世代間交流などの学習活動を通じた学習を行った。 中学校では、生徒会を中心に除雪ボランティアや花壇の整備等を行った。	地域の方々の積極的な協力により、人との触れ合いを通じた豊かな人間性を育む機会に繋がった。

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	いじめの未然防止、実態把握や早期発見・対応等の組織的な取組	<p>いじめ調査や教育相談を実施するとともに、教師が休み時間などに様々な児童生徒と話をしたり、児童生徒の様子を観察し、状況に応じて指導を行った。</p> <p>また、「南幌町いじめ防止基本方針」に基づき、「南幌町いじめ問題対策連絡協議会」と「南幌町いじめ問題専門委員会」を設置し、いじめの防止のための組織的な体制を整えた。</p>	<p>いじめはいつでも、どこでも起こりうる問題であり、今後も教師一人ひとりが注意深く児童生徒を観察するとともに、教師全員が共通理解を図り、機会を捉えて継続的に指導して行く必要がある。</p> <p>また、今後も関係機関との連携を密にして、いじめの防止、早期発見・対応等の取組を組織的に行っていく。</p>
	小・中・高校の連携した不登校や問題行動の実態把握と継続的な指導	小・中・高生徒指導連携会議により、不登校や問題行動の児童生徒の情報交流を行うなど、校種間の連携を図った。	校種間の連携を図りながら、指導体制が構築されている。
	スクールカウンセラーによる児童生徒の心のケア	週1回、中学校においてスクールカウンセラーによる生徒や保護者に対して、カウンセリングを行った。ケースによっては、小学校の児童と保護者に対するカウンセリングも行った。	カウンセリングにより、登校の改善や高校進学に繋がったことなどが見られた。今後もカウンセリングの効果を児童生徒や保護者に伝えていくとともに、要望に応えるため時数増の検討も必要である。
	「私たちの道徳」の効果的な活用	教科書同様に使用することから、児童生徒には家庭に持ち帰らせて、保護者の目にも触れる機会を設けた。	道徳の時間で、一層有効に活用していけるよう、教材研究を進め、指導計画に位置付けていく。
	不登校・問題行動に対する相談・指導体制の充実と適切な対応	学級担任や生活指導担当者による日常的な状況把握と、管理職を含めた組織的な対応の体制を整備しているとともに、スクールカウンセラーの活用や町保健福祉課との連携を図った。	今後も個別の児童生徒に対して、校内組織を生かした全教職員の支援体制を維持・構築するとともに、スクールカウンセラーの活用やケースによって関係機関との連携が不可欠である。

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	体罰について、教職員に対する校内研修、報告、相談及び指導体制の整備	校内研修において、体罰に係る事例研修や体罰調査の機会を生かした実態把握を行い、体罰防止の意識を高めた。	今後も職員会議や校内研修の中で、管理職から体罰防止の指導を行うとともに、教師同士で声を掛け、相談し合える環境づくりが重要である。
	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた運動習慣の改善に向けた取組	<p>小学校では、運動会やマラソン大会などの練習時間確保に取組んだ。</p> <p>中学校では、体育の授業等において、指導方法や個に応じた課題の提示などの工夫に取組んだ。</p>	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を活用し、授業での体力向上の取組に生かすとともに、体育祭や部活動の指導においても活用できた。
	虫歯予防に効果のある「フッ化物洗口」の実施	児童生徒の虫歯予防に効果のある「フッ化物洗口」を小中学校において、週1回、全学年で実施した。	<p>フッ化物洗口の実施率は、小学校が94.0%、中学校が52.4%であった。</p> <p>フッ化物洗口の効果は、数年かかるものであるが、全国と比べ2倍以上であった12歳DMFT（永久歯のう蝕罹患状況）指数が、平成27年度では1.4倍と改善傾向が見られた。</p> <p>なお、中学校の実施率の向上が今後の課題である。</p>
	学校給食における食に対する理解を深める取組と南幌産給食米の全額町費負担の実施	<p>南幌産米の100%使用、南幌産秋小麦を使用した麺やパンの供給など、南幌産食材を活用した献立により、地域の食文化、産業、自然環境の恩恵に対する理解を深められるよう努めた。</p> <p>また、南幌産給食米の全額町費負担を継続して実施した。</p>	<p>南幌産野菜の使用品目数を維持し、南幌産秋小麦の使用割合を増加させることができた。</p> <p>また、JAなんぼろの協力により、南幌産米・南幌産野菜の提供を受け、学校給食において、農業に対する理解と食の重要性についての理解が深められた。</p>

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
開かれた学校づくりと教育活動の充実について	学校関係者評価委員会による評価結果の公表	学校の自己評価や保護者等による評価を実施し、その結果を学校だよりやホームページで広く公開した。	評価結果をもとに、家庭学習の意識付けに取り組んだり、参観日の出席を促したことで、保護者の授業参観の増加に繋がったことなど、学校経営に生かすことができた。
	公開授業の実施及び学校だより等による情報提供	学校だよりを行政区町内会に配布し、学校や児童生徒の様子について、情報提供を行った。	公開研究会においては、保護者や地域の方の学校に対する協力意識の向上につなげるため、多くの方が参観できる工夫が必要である。
	自然を生かした体験や地域と連携した社会活動、キャリア教育を実施する総合的な学習活動の充実	総合的な学習の時間において、地域の教育資源を活用し、体験活動や地域と連携を図った活動を行った。	小学校では、教科で培った力を生かして、「ふるさと南幌」について自ら課題を設定し、解決していく児童の姿を見ることができた。 中学校では、学年毎の取組となっているものを更らに発展させ、3年間を見通した中での継続した学習にすることも必要とされている。
	特別支援教育支援員による児童生徒一人ひとりの教育ニーズに応じた適切な支援	小学校では、学習や生活の面で困り感のある児童に対して、適切な指導及び必要な支援を行った。 中学校では、英語と数学を中心に支援員による生徒個々に対応した指導を行った。	学習や生活の面で困り感のある児童生徒に対して、今後も継続した指導及び支援が必要とされている。

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
教育環境・教育施設の充実	小・中学校耐震等改修事業の実施	<p>小学校は、防災機能強化対策として屋内体育館の天井耐震改修工事及び校舎・屋内体育館の外壁改修工事を実施した。</p> <p>中学校は、校舎の耐震補強及び大規模改修工事を実施した。</p>	小・中学校とも耐震等改修工事を終了し、耐震対策の完了と防災避難施設としての機能が確保された。
	「高校生通学費補助事業」の実施	<p>自宅から高等学校へ通学に要する公共交通機関の通学定期購入費の2分の1（月額上限1万円）を助成し、生徒の保護者の経済的負担軽減を図った。</p>	<p>交付対象者の支給率は84.9%であり、申請者も3ヶ月毎の支給月にあわせてまとめた申請や長期定期券を購入するなど効率的になっており、制度の定着が見られる。</p>
南幌高校に対する支援	南幌高校振興協議会を通じた魅力ある学校づくりの取組に対する支援	<p>南幌高校の生徒数減少対策として、魅力ある高校づくりに向け取り組んでいる活動に対して、支援を行った。</p>	<p>南幌高校の更なる「魅力ある学校づくり」を進めるにあたり、生徒の将来に向けた進路実現を応援し、充実した学校生活を送れるよう新たな支援が求められている。</p>
姉妹町児童交流の推進	熊本県多良木町との児童交流学習事業	<p>両町それぞれ、訪問団15名（児童10名・引率者5名）が参加し、7月に多良木町を訪問し、2月に多良木町からの訪問団を受入れ、家族ぐるみの交流を深めた。</p>	<p>訪問団の募集では抽選にはならなかったが、派遣児童を男子5名・女子5名にすることができた。</p> <p>受入時には、小学校における全校集会での全児童との交流や各団体・保護者の協力もあり充実した交流内容となった。</p>



(2) 社会教育

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
家庭や地域の教育力の向上について	子育てを支援する学習環境の整備や家庭教育に関する情報提供の充実	<p>「すくすく広場」での読み聞かせや体力づくり、「親学講座」での講話などにより、子育てや家庭教育に関する学習環境を整備するとともに、「青少年健全育成を考える集い」において「親学講座」を開催し、子どもの生活習慣についての講話を実施し、家庭教育に関する情報提供を行った。</p>	<p>「すくすく広場」は、子育て支援交流事業として長期にわたり継続しているが、少子化や他部局での類似事業などの実施により、当初の状況と変化していることから、それぞれの役割を分担し、連携協力することが必要である。</p> <p>また、「親学講座」は、家庭教育に対する学習機会の充実を図ることができたが、更に幼児期の子どもを持つ保護者に対しての学習機会も検討する必要がある。</p>
	生涯学習サポーターと協力した子育て支援活動の充実	<p>「すくすく広場」「子育てメソッド」「ブックスタート」「出張読み聞かせ」などの子育て支援の各事業において生涯学習サポーターの活用を図った。</p> <p>また、生涯学習サポーターと協力し、「家庭教育ナビゲーター」の養成を行い、「学びカフェ」を実施し、保護者と情報交換する中で子育て支援を行った。</p>	<p>生涯学習サポーターの協力を得て、子育て支援事業を実施することにより、子育ての経験者として保護者への助言や身近な悩み相談の機会ができ、子育て支援の充実を図ることができた。</p>
青少年教育の推進について	社会性や創造性を育む多様な学習機会の確保と充実	<p>「放課後子ども教室」や「週末支援子ども教室」を、生涯学習サポーターや各団体、小学校教員との連携を図り実施した。</p> <p>また、元教員などの協力を得て、「なんぼろ MANABI 家」を新たに実施し、多様な学習活動に取組んだ。</p>	<p>生涯学習サポーターの活用を図り、学びの場(宿題等)、体験の場(文化・スポーツ)、交流の場(世代間交流等)などの多様な学習機会を確保し、地域の人との交流によって子ども達の社会性や創造性を育む機会に繋がった。</p>

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	<p>関係団体と連携した「青少年健全育成を考える集い」の実施と次代を担うリーダーの養成</p>	<p>南空知PTA連合会、南幌町PTA連合会との共催で、「青少年健全育成を考える集い」を開催し、より多くの保護者に対し、健全育成を喚起する機会に取組んだ。</p> <p>また、子ども会育成連絡協議会と協力し、「リーダーキャンプ」や「たくみ祭り」などにおいてリーダー養成に取組んだ。</p>	<p>各PTA連合会と連携して、実施したことにより、保護者がより関心のある内容を設定することができ、例年よりも多い参加人数となった。</p> <p>また、「リーダーキャンプ」や「たくみ祭り」において、企画・運営に子ども達が主体性をもって事業に取組むことができた。</p>
	<p>家庭・学校・地域や関係機関と連携したネットモラルに対する意識啓発の取組</p>	<p>近年、社会問題となっている子どものネットトラブルについての啓発を学校や関係団体と連携し、保護者に向けての「ネットモラルを考える集い」を開催した。</p>	<p>3年間実施した経過から、参加者の固定化が見受けられることから、より多くの参加者が得られる機会を捉えて、実施することを検討し、ネット問題の重要性や身近な問題であることを啓発する。</p>
<p>成人教育の推進について</p>	<p>町民が自主的・主体的に学ぶことのできる取組への支援</p>	<p>「さわやかカレッジ」や「ふるさと南幌みらい塾」の参加者が主体的に学習活動を行えるよう、アンケート調査の結果などを踏まえ、さわやかカレッジ自治会やふるさと南幌みらい塾運営委員会と協議し、事業を開催した。</p>	<p>「さわやかカレッジ」では、自治会役員と協議し、主体的に活動する機会の拡充を図った。特にクラブ活動においては、活動を披露する場を設定することにより、活動の活性化に繋がった。</p> <p>「ふるさと南幌みらい塾」では、参加者の固定化が見られ、参加者数の増加に繋がらなかったため、幅広い年齢層に対応する講座内容の検討が必要である。</p>

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
	<p>新たな地域の人材の発掘と活用による多様な学習機会の創出と子どもたちや地域との交流の促進</p>	<p>「放課後子ども教室」や「ふるさと南幌みらい塾」を中心に生涯学習サポーターに登録している地域の人材を講師や指導者として活用した。</p> <p>「放課後子ども教室」や「さわやかカレッジ」において地域の人たちやさわやかカレッジの学生と子ども達が交流する機会を設定した。</p>	<p>地域の人材を広く活用することで、多様な学習の機会の創出や子ども達との交流や体験の場を広げることができた。</p>
<p>芸術・文化活動の推進について</p>	<p>学校や文化協会と連携した優れた芸術と郷土芸能に触れる機会の提供</p>	<p>小学校や文化協会と連携を図り、児童と一般を対象とした芸術鑑賞会を実施した。</p> <p>また、児童芸術鑑賞会のオープニングや少年団本部のリーダー研修会において「南幌音頭」を披露する場面を設け、子ども達が郷土芸能に触れる機会を提供した。</p>	<p>芸術鑑賞会を開催することにより、優れた芸術に触れる機会をより多くの町民に提供することができた。</p> <p>また、郷土芸能である「南幌音頭」「なんぼる俵積み唄」を各催事等において披露し、広く郷土芸能に対する理解を広めた。今後も、催事等を活用し、郷土芸能に対する理解を深めていくことが必要である。</p>
	<p>郷土史研究会と連携した郷土資料の展示・保存、伝承</p>	<p>生涯学習センターのオープンに伴い、郷土資料室が「あいくる」から移転したことから、郷土史研究会と連携し、展示内容の充実や資料の整理・保存に取組んだ。</p>	<p>郷土資料の台帳や展示資料のキャプション（見出し）の整理により、管理方法の見直しを行ったが、今後も、より見易い展示方法を検討し、整備する。</p>

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
スポーツ活動の振興について	年齢、体力・技術に応じたスポーツ教室や体力づくり教室、各種大会の開催	キッズスポーツや各種フィットネスなどの教室に加えて、女性を対象にスポーツを行うきっかけづくりとして、軽スポーツを取り入れたレディーススポーツ教室を実施するなど、年齢や体力に応じた運動機会に取組んだ。	各種スポーツ教室やスポーツ大会を年齢や体力に合わせて展開することができた。平成28年度からは既存事業に加えて新たに開設される町民プールを活用した事業に取組む必要がある。
	スポーツ推進委員やスポーツ団体と連携した生涯スポーツの推進	<p>スポーツ推進委員が中心となり、体育部長会議を招集し、より多くの町民が参加しやすいスポーツ大会の検討を行った。</p> <p>また、スポーツ少年団本部と連携し、スポーツ少年団への加入促進やリーダー研修での町歌、南幌音頭の講習を地域の協力により実施し、広域的な活動に取組んだ。</p>	<p>スポーツ少年団ではスポーツの振興・発展に加えて地域との連携協力により郷土芸能活動にも取組むことができた。</p> <p>少子高齢化が進む中で今後も幅広い層にスポーツに親しんでもらうため、スポーツ推進委員と更に連携協力し、事業を実施する必要がある。</p>
	スポーツセンターとの相乗効果と利便性を高めた町民プールの整備	林野庁の森林整備加速化・林業再生事業補助等を活用し、道産カラマツ材を使用した町民プール建設の工事・監理業務を関係課と連携し、実施した。	<p>予定していたすべての工事を完了することができた。</p> <p>今後は、町民プールを利用した水中運動の事業など利用促進に取組む必要がある。</p>

主な施策	点検評価項目	取組状況	成果・課題等
社会教育関係施設の整備について	生涯学習の拠点施設としての生涯学習センターの充実	<p>公民館機能、図書館機能、郷土資料館機能を各施設から移転し、生涯学習センターを計画どおりオープンした。</p> <p>特に図書室においては施設機能を高めるため、図書館システムの導入や利用促進のための夜間開館の実施、備品の購入を計画どおり実施した。</p>	<p>図書館システムの導入によるネットワークの構築、週2回の夜間開館の実施、蔵書の増加により、広く町民に利用し易い図書室の環境を整えることができた。</p>
	三重レークハウスの安全性と利便性の向上を目指した改修工事の実施	<p>老朽化した建物の外装や暖房設備等の改修工事を指定管理者や関係課と連携し行った。</p>	<p>予定していた工事はすべて完了し、利用者への安全性と利便性の向上を図ることができた。</p>

#### 4. まとめ

この点検・評価の実施をもとに、検討と改善を図り、施策及び事業の効果的な実施に努め、より充実した教育行政の実現を目指します。